

議会運営委員会会議録（令和6年6月18日）

出席委員 原委員長 青山副委員長 吉森委員 岩城委員 古沢委員 開田委員
尾崎議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

職務のため出席した事務局職員 石井局長 中田局長補佐

午前9時00分開会

【原委員長】 これより議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付したとおりでございます。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。青山副委員長、岩城委員にお願いいたします。

日程第2 意見書の取扱いについてを議題といたします。

まず、2024年原水爆禁止国民平和行進富山県実行委員会からの「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択の陳情」について、各会派・グループ等で協議いただいた結果の報告をお願いいたします。

まず、青山副委員長のほうからお願いいたします。

【青山副委員長】 志真会は不一致です。

【原委員長】 会派自民、岩城委員。

【岩城委員】 バツ。

【青山副委員長】 不一致だそうです。

【原委員長】 無会派1、古沢委員。

【古沢委員】 一致です。

【原委員長】 無会派2、開田委員。

【開田委員】 不一致です。

【原委員長】 意見が一致しませんので、議会運営委員会の提案にはしないこととさせていただきます。

次に、富山県労働組合総連合からの「最低賃金の引上げ及び中小企業への支援拡充を求める意見書の採択を求める陳情」について、各会派・グループ等で協議いただいた結果を報告願います。

まず、志真会、青山副委員長。

【青山副委員長】 不一致です。

【原委員長】 会派自民、岩城委員。

【岩城委員】 不一致。

【原委員長】 無会派1、古沢委員。

【古沢委員】 グループとしては不一致でした。

【原委員長】 無会派2、開田委員。

【開田委員】 不一致です。

【原委員長】 意見が一致せず、議会運営委員会提案にはしないことといたします。

日程第3 その他に移ります。

まず、前回の委員会で青山副委員長から提案のありました議員定数の検討についてであります。皆さん方からのご意見をお聞きしたいと思います。まず会派自民。

【岩城委員】 うちのところか。

【原委員長】 はい。

【岩城委員】 うちのところの会派は、議員にまつわる、いわゆる大事なことなので、それを1年でやるのがいかなものかと。もしやるんだったら、来年の秋の選挙が終わり、じっくりと定数の関係、そして併せて報酬を一緒にやればどうかということで、1年で、ただ定数を検討するのは、ちょっと拙速過ぎるのではないかという話でした。

【原委員長】 続きまして、古沢委員。

【古沢委員】 まとまってはいませんが、定数について議論する必要はあまり感じないということで、特別委員会をつくるということについては必要ないので。

【原委員長】 開田委員。

【開田委員】 うちも、ばたばたとするんじゃなくて、ゆっくりでというところで、今回は見合せということでした。

【岩城委員】 それと、もう一つ。

11年前、定数削減したときに、やっぱり報酬と併せてやらんと、何かただ削減だけというのは、非常に後悔があのかき残っております。

次もしそういうふうを検討するというならば、併せた形でという思いがあります。

【原委員長】 ありがとうございます。

皆さん、不一致ということであるんですけども、青山副委員長のほうから。

【青山副委員長】 協議していただいてありがとうございます。

皆さんの意見なので、それは尊重するしかないと思っておりますので。

我々はそういう立ち位置で一応議論して皆さんにお諮りしたということで、持ち帰っていただいたことに、まず感謝しますということであります。また、引き続きよろしくお願いします。

【原委員長】 分かりました。

ということでありまして、議員定数の検討につきましては行わないということで、よろしく願いをいたしたいと思います。

それについて、何かほかの委員の皆さんからご意見ありませんでしょうか。

よろしいですか。

(特になし)

【原委員長】 それでは、その他でございますが、委員の皆さんから何かありませんでしょうか。

【岩城委員】 昨日の質問の中で、竹原議員の最後の質問なんですが、いろいろと問題があるんじゃないかなと思っています。

車関係の話は、やっぱり自分の仕事を議会に持ち込んで質問しておるという形になると思うがで、そこら辺りのチェックをちょっと議長もいいがにしてもらわんにゃ都合が悪いのではないかなという形になります。

皆さんがどう思われるかは分らんけども、やっぱりちょっと自分のところの仕事を議会で言うて答弁をもらったりするのはふさわしくないなという形。以前だったら、そんなことは質問の中に入れてはもらえなかったと思っておるがですけどね。最近そういうようなことがちょっとルーズになっておるんじゃないかなという気はいたします。

以上です。

【原委員長】 今の意図というか、発言について。

【開田委員】 私も、例えば誰かに言ってもらうとか、誰か別の人に質問してもらうとか、そういう形はあると思うんです。

【岩城委員】 話の切替えとして、こういうふうな話があったので。ほかの議員が言うとか。

【開田委員】 そうそう、ほか議員さんに言ってもらうという形も取れるんじゃないかなと思っていました。

【岩城委員】 ちょっと見苦しかったですね、最後。

【原委員長】 こういう場合は、議長に……。

【岩城委員】 これは、議会運営委員会から言うわけじゃないので、議長から。昔から議長から注意という形で、よくあったと思っています。

【青山副委員長】 過去おのおの、私も結局、人口増加にまつわる土地の利用だとかという話は当然してしまうところはあるんです。皆さんもお聞きしていたら、そう言ってしまうと、例えば農家をやられている方が農家の話をしている話も当然ありますし、線引きがなかなか難しい中で、昨日の竹原議員に関しては、自分がやった届けに対してやっていたので、そこは私もNGだと思うので。やっぱり人がやった届出に関して、これはこういう問題があるんじゃないかというところの切り口であれば、僕はオーケーだと思うので。

【岩城委員】 そういう話が出ましたよと、うん。

【青山副委員長】 自分がちょっと都合が悪かったみたいな言いぶりになっていたので、あれがちょっとどうかなと私も思って聞いていました、やっぱり。

【岩城委員】 やっぱりああいうがをただ見過ごしておってちゃ駄目なので、ちょっと止めてくれということで。

【青山副委員長】 かといって、車関係の質問をするなというのは、僕はちょっと違うと思うんです。

【開田委員】 そうですね。

【青山副委員長】 やっぱり自分自身、届け出た話になっていったもんだから。そこはちょっとあかんでしょうね、どう考えても。

【岩城委員】 そういうがをしたいがだったら、誰か、そういう業者で言うておられたとか。

【古沢委員】 言い方ですね。

【原委員長】 議長からも発言してもらって、あと、会派内でもその旨はしっかりとすると。

【岩城委員】 そういう話が出ていましたということ言うて。

【原委員長】 内々でちょっとまた、はっきり説明なりしておいてください。

【青山副委員長】 はい。会派の代表がまさかこんなことをすると思わなかったものから。

【尾崎議長】 ただいまの指摘を受けまして。

一般論として言われるのかなと思っておったんですが、なかなか質問原稿まではチェックできなかった経緯があります。

今後はやっぱり議長という立場でしっかりと質問のチェックをして、そういった意味で公平公正な議会運営に努めていきたいと思います。

以上です。

【岩城委員】 お願いいたします。

【原委員長】 なかなか質問項目だけで内容というのははっきりつかめんもので難しいところはあると思うがですけど、それは会派、それぞれグループの中でお互いに気をつけていかんと駄目だと思うので、また会派のほうでお願いいたします。

【青山副委員長】 僕もそう思います。

【岩城委員】 お互いに気をつけましょう。

【青山副委員長】 あと、昨日、私、議長ともお話させていただいたんですけども、いわゆる通告外ということで私の質問が止められております。

内容は、私は通告内だと今でも思っていて、いわゆる子育てサポートに対する詳細を問うような質問をしているわけです。それに対しての質疑応答も、電話でその前に課長としているということで、部長にも言っておいてくださいという流れで通告をして質問に臨んだと。内容も私は全くそこからそれていない内容をしたと思っておりまして、たまたま部長がなぜか手を挙げなかったのを見て議長が判断されたんだと思うんですけども、私からすると、どちらかというと、あれは向こう側の問題だと思っておりまして。

そこは、私も3か月間ずっと相談を受けていたことを受けてあぁいった質問をしているわけですから。非常にこれは市民の声で重たいもので、どうしてもお願いしますということを受けてあそこに立っているわけですから、その辺もしっかり含めて、もうちょっと準備してほしいということを伝えていただきたいと思います。

【尾崎議長】 今青山副委員長から言われた件に関しては、あの質問の後にも青山さんとお話しさせていただきまして、今後やはりそういったことのないように、質問者もちょっと一言、こう言っていただければ非常に助かるかなということと、今とにかく当局のほうから、いわゆる部長以上で答弁することを原則としてやってみたいということを受け入れた本会議なものですから、今言われるような様々な問題点も出てきていることは事実だと思いますので、しっかりとそういったことも検証、精査して当局に申入れをしたいと考えております。

以上です。

【岩城委員】 お願いいたします。

【原委員長】 また議長のほうから、ひとつよろしくをお願いいたします。

始めて2回目という議会でもありますし、やっぱり言うことは言うておかんとあかんと思うので、またよろしくをお願いします。

【青山副委員長】 お願いします。

【原委員長】 その他。

【古沢委員】 この間あった要望書の件についての、例のガザのやつね。これは何か準備があったやに認識しておるがやけど、議員提案で出されるということでいいがかな。

【岩城委員】 私のほう、議員提案で出させていただきたいと思います。

【原委員長】 パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議ですね。

【古沢委員】 続いて、もう一点、皆さんのところに一応資料をお配りしているんですが、タイトルは「第33次地方制度調査会答申に基づく地方自治法の改正についての現状」ということで、案をつくっております。

実は、これはちょっと国会日程との関係、絡みがあって微妙なところでして、今地方自治法の改正案が国会にかかっています。既に衆議院は通過してしまっていて、今参議院の段階での審議になっています。

国会日程は23日までということになっているんですけど、23日って日曜日なので、実質的には21日が最終かなと思って。最終日までにこの地方自治法の改正案が成立してしまうと意見書を出す意味というのは、正直言って遅れてしまうので出すわけにはいかないかなとは思っているのですが、中身について言うと、読んでいただければ、どの程度表現できているかちょっと不安ですけども、文言は変わる可能性があります、もし出すにしても。

というのは、我々の、いわゆるグループで話をしていたら、地方分権が後退するという、その点では一致をしたので、私も案文をつくってみるという人がいるので、そこら辺のすり合わせをちょっとやらせていただくことになるかもしれませんけれども、いずれにしても、その両にらみに。国会日程との関係で。

趣旨とすれば、今度の地方自治法改正は国の指示権が強化されるという中身なんです。表現では感染症だとか非常事態だとかということもあるんですけども、感染症などの場合は個別法があって国の指示ができるというふうにあるんですが、今度の場合は、そういう個別の例がないときにでも、細かいことは忘れましたが、国民の生命と安全が脅かされる

おそれがあるというちょっと曖昧な表現で国の指示権が強化される、地方自治体の頭越しに発動できると。

という表現になっているので、我々は、2000年の、いわゆる地方分権一括法で、国と自治体は対等、平等という関係が強化されたというふうに認識をしているんですけども、それが逆行してしまうおそれがあるということで、この意見書をつくってみました。

実は、早いところはこの3月定例会で、地方議会でこうした意見書が出ているところが幾つもあります。正直言って、気づくのが遅かったということなのではけれども、こういう意見書を今考えているということです。

文言、表現が変わるかもしれないということと、国会日程で変わるかもしれないということ、2点踏まえていただいて、こういうことを考えていると。

いずれにしても、出すとすれば議員提案で最終日にということになると思います。あらかじめご案内をしておきたいと思います。

以上です。

【原委員長】 そしたら、まず決議については、6月24日、定例会最終日に、このパレスチナのを出すということですね。本会議で採決するということによろしいですね。

で、古沢委員さんのはまだ、これから。

【古沢委員】 はい。

【原委員長】 それでは、これは定例会最終日、本会議で採決するということでございます。

提案理由説明は。

【岩城委員】 どれを言っておるが。ガザか。

【原委員長】 はい。

【岩城委員】 俺、するよ。

【原委員長】 じゃ、ひとつよろしく願いいたします。

賛同者はどういうふうに。

【古沢委員】 いや、だから、提案者2人以上で出して、それで採決に臨めばいいと思うんですが。

【中田局長補佐】 確認したいのは、決議文は滑川市議会としてだすんですけども、提案者名を、議会運営委員会のメンバーにするのか、会派自民の代表にするのか、どなたの名前で提案されるのか、ちょっとそこは詰めていただければということです。

【岩城委員】 了解。

【原委員長】 それは岩城委員に頼みます。

【岩城委員】 はい。

【古沢委員】 話が戻って恐縮なんですけど、さっきの最低賃金の意見書ね。あれは耳に入っていないかもしれませんが、県議会では採択をされています。付け加えておきます。

【原委員長】 それでは、定例会最終日の本会議で採決ということをお願いいたします。

提案理由は岩城委員でよろしいですね、確認しておきます。よろしくお願いいたします。

あと、事務局から何か。

【石井局長】 先ほどの意見書について、不一致案件となったもので、今の議会、議運提案とならなかった意見書につきまして、議員提出される場合は、件名、賛同者、提案理由説明を6月20日の木曜日までに事務局のほうに申出いただければと思います。

また、あと、討論の希望ということで、定例会最終日に討論を希望される方は、事務局に発言通告書がございますので、書面にて提出をお願いいたします。最終日の6月24日月曜日の午前9時までをお願いいたします。

以上です。

【原委員長】 今の事務局からの説明、委員の皆さんから、よろしいですね。

(質疑する者なし)

【原委員長】 ほかにございませんでしょうか。

(特になし)

【原委員長】 ないようでありますので、次回の議会運営委員会は6月24日月曜日の定例会最終日の午前9時から開催いたします。

以上で本日の議会運営委員会を閉会といたします。

お疲れさまでございました。

午前9時23分閉会